

国分寺市国際協会会報です。  
ご自由にお取りください。

ちきゅうかぞく  
「地球家族」No.110  
Mar. 2019



2月28日現在会員数	
個人会員	369名
家族会員	23名
賛助会員	10名
合計	402名

発行日 2019年3月28日  
発行 国分寺市国際協会  
〒185-0034  
国分寺市光町 1-46-8  
TEL(042)505-6132  
FAX(042)505-6138

国分寺市国際協会  
The Kokubunji International Association

ちきゅうかぞく  
「地球家族」が

フェイスブックとPC（パソコン）で見られるようになります。

これまで「地球家族」は印刷した冊子をお送りしていましたが、これからは国際協会(KIA)のホームページで見られるようにします。フェイスブックではすでに見られます。QRコードをスキャンするか、「facebook.me/1991kia」と入力してご覧ください。また、「いいね！」を押して頂けると読者数が拡大し、注目度が高くなりますので、是非ご協力ください。

PCでは「4月」から見られるように作業中です。完成したら改めてご連絡いたします。

なお、印刷版をご希望される方は、お手数ですが事務局にご連絡ください。

### <連絡先> 国分寺市国際協会

〒185-0034 東京都国分寺市光町 1-46-8  
ひかりプラザ1階  
(電話)042-505-6132

#### ● 国際協会(KIA)ホームページの表紙(トップページ)のイメージ



#### ● 国際協会(KIA)フェイスブックのイメージ



フェイスブックに  
「いいね！」しよう

このQRコードを読みとると  
スマホからもアクセスできます



2019年春、KIA ホームページを  
リニューアルします！

**【第 90 回国際理解講座】**  
**「日本語専門家の見た日露交流史」**

講師は元国際交流基金海外派遣上級日本語専門家の  
 荒川友幸さん。(2018年12月15日開催)

講演の概要は次の通り。

日露の交流は 1730 年代にカムチャッカに漂着した日本人がロシア人に助けられたのがきっかけ。その後、1811 年にロシア軍艦艦長のゴロヴニーンが測量のため国後島を訪れた際に江戸幕府役人に捕えられ、役人による尋問が続いたが、海運業者の高田屋嘉兵衛の助力によりゴロヴニーンは釈放された。問題の平和的解決がなされたことで日露相互に信頼関係ができて 1855 年の日露和親条約締結へと繋がった。しかし、日露関係は、戦後から現在に至る期間ではやや冷たい関係が続いている。特にソ連崩壊後、日本人のロシアに対する関心は薄らいでしまっている感じがする。現在のロシアに対しては政治的には違和感を覚える面もあるが、魅力的なところも多いのもっとロシアに興味をもっていたきたいと思う。

(国際理解部会:山岡龍介)

**《「第 38 回 市民防災まちづくり学校」》**  
**「－外国人と防災－」に協力しました**

10月27日(土)、本多公民館ホールにおいて、国分寺市主催の「市民防災まちづくり学校⑦共助力Ⅱ外国人と防災」が開催されました。国際協会(KIA)からは外国人7名を含む12名が参加しました。

KIA より、市内外国人状況、活動紹介の後、外国人にとって「やさしい日本語」(例:至急避難→急いで逃げてください)などの紹介をしました。

また、グループワーク「やさしい日本語で



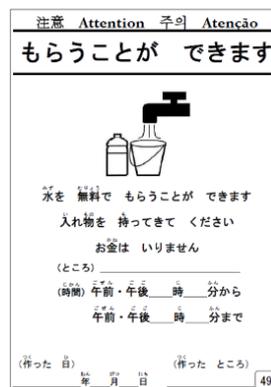
表示を作ろう」では、実際に避難所などで使われている、様々な例の文章をやさしい日本語に直す作業をしました。

受講者の方々にとっては、日頃、私たちが使用している日本語が、在住する外国人の方々にとっていかに分かりづらいものか実感できたと思います。

災害時においては、日本人も外国人も共に同じ地域で生活する者同士、分かりやすい日本語で円滑にコミュニケーション出来ることが何よりも重要です。

今回、やさしい日本語の実践を通して得た相互理解を契機に、より近い関係が築かれていくことを期待します。

(日本語教室[夜]:田村 浩)



(災害時のポスターの例)

**ウクライナからやって来た珠玉の歌姫との出逢い**

1月13日、ウクライナの家庭料理教室が本多公民館で開催されました。

講師はオクサーナ・ステパニユックさん。2008年に来日したオペラの歌姫で、この日は可愛い二人のお子さんとともに参加。料理前には見事なコロラトラーラ・ソプラノの歌声を披露して下さいました。

料理はウクライナの代表的家庭料理ボルシチのほか2品。血液をきれいにし、流れを良くするビーツをすりおろして使うのが特徴で、骨付きの豚スペアリブ、人参、ジャガイモと一緒に煮込んだ真っ赤なボルシチは見るからに体に良さそうに感じられ、シンプルな味付けと相まって参加者50人の好評を博しました。日本ではなかなか手に入らないビーツをわざわざ北海道から取り寄せて下さったオクサーナさんのあたたかい心遣いにも感激の声があがりました。

ウクライナの心が伝わってくる印象的な料理教室となりました。

(世界の家庭料理を楽しむ会 代表:増田 加代子)



## ニュースで学ぶリアルな英会話

2018年2月からスタートした中級者向けのユニークな英語講座です。

月2回(第一第三水曜日)10時から11時30分、本多公民館で開催しています。講師は、米国出身で法政大学名誉教授ジェフ・ハベルさん。大学で長年教えると共に高校英語教科書やTOEIC参考書の編纂に携わるなど、豊富な経験の持主。授業は、米国CNNで実際に放送されたニュースを教材に、実践的な表現力のアップを図ることが出来る内容となっています。取り上げるニュースは、政治、経済、芸能、スポーツなど幅広い題材。例えば、政治では、Bill for Preserving Presidential Posts (トランプ大統領のツイートが公文書に)、芸能では、Taylor Swift Wins Groping Lawsuit (歌手のテラー・スウィフトさんセクハラ裁判に勝利)、スポーツからは、Marathoner Nears Two-Hour Mark (マラソン 2時間切りに挑む)などが教材に使われ、広範な語彙が身に付く内容となっています。

ニュースに加え、ネイティブ・スピーカーがよく使う表現でありながら日本人には、馴染みの薄い「口語慣用表現」を毎回の授業で講師が紹介し用例を説明します。紹介されたものをいくつか記しますと have a ball(楽しい時を過ごす)、We had a ball last night のように使います。他に、face the music(批判など甘んじて受ける)、sit on the fence(どっちつかずの態度を取る)などが紹介されました。いずれもテレビドラマや映画でよく使われる表現でリスニング力のアップに適した授業内容となっています。このように90分の授業は、「チョット手強いが生きた英語が学べる」ように企画され、「上級を目指す中級者向け」とも言えるものです。メンバー14名の皆さんが、講師のジェフが時折りとはずジョークの入った授業を楽しみながら学んでいます。

興味のある方の見学を歓迎しますので事務局にご連絡下さい。

(外国語部会:伴 良一)



## ～東大セミナー「外国籍住民との交流・支援のための入門講座」に参加して～

“新宿区の昨年の外国籍の新成人は、区全体の半数近く!?”

この講座は、東京大学グローバルキャンパス推進本部の主催で、昨夏3回にわたって開かれたものです。特に印象に残ったことを紹介します。

- 「2017年の外国籍の新成人が、新宿区では45.7%(1,790人)」:  
今年の成人の日のニュースでもこうしたことが取り上げられていました。こんなところにも、外国籍住民の増加が・・・ということには改めて驚かされます。
- 「外国人が日本で暮らす際の3つの壁～『制度』『ことば』『ころ』の壁」:  
こうした壁の解消にKIAはもちろん日本語教室の活動が少しでも役立てばと思います。
- 「文化には、見える『文化』と、見えない『隠された文化』がある」:  
「隠された文化」とは、対人関係や子育て・教育などにも関わる価値観や考え方のこと。例えば、外国人との交流において、相手の言動が自分の価値観と折り合いがつかない時は、自分(日本人)としての思い込みにこだわり過ぎず「いったん判断を保留する」という方策は有効だと感じました。

以上、「隠された文化」や「3つの壁」というのも、外国籍住民の話という特別なことではなく、そもそも日本人同士からしてある話なのではないかとも思い、こうした足もとへの気づきから始めることが大事ではと考えています。

(広報部会:遠藤 芳信)

## シリーズ「この人」 (No.87)

### 中国出身の李(り)さん

都内にある美術大学の大学院で工業デザインの研究をしています。彼女の研究の中心は高齢者のための日用品の開発で、中国に住む祖父母のために何かしたいという思いが動機になりました。



彼女の研究は、サービスデザインという、高齢者や体が不自由な人々を取り巻く環境を考察しデザインするという分野にもおよんでいます。

修士課程終了後は、博士課程に進み、研究を続ける予定です。まだまだ学ぶことがあると、李さんは言います。卒業後は、中国の大学で教職に就くという夢を持っています。

「日本のデザインは一流です。中国の学生に日本で学んだことを伝えたいと思っています。」と李さん。日本と中国の文化の架け橋となり、両国への恩返しをしたいと願っています。

日本文化を少しでも理解できればと、茶道を習い始めました。幼い頃から、家族とお茶を飲み談笑することが好きだったそうです。茶道を学ぶのであれば、和服



のことも知りたいと、着物の着付けを学んだこともありました。「中国で日本の茶道教室を開くのもいいかも」と、彼女の夢は尽きません。

勉強とアルバイトの忙しいスケジュールの合間に、水曜日と金曜日の日本語教室に通い、語学力を磨く日々です。李さんの今後の活躍が楽しみです。

(日本語教室[夜]:鈴木 ジュリー)

## 日本語地域連携連絡会・懇談会

### 「もし地震が起きたら ～外国人とつしよに防災を考えよう～」

3/9(土)本多公民館で、国分寺市の防災についての懇談会を開催されました。参加者は28名(うち外国人は7名)。

始まりは、KIA事務局のアンケート調査の報告。そして、防災安全課の増田課長からは市の防災対策について、高木町自治会の櫻井会長からは自治会の防災活動について話をしてもらい、最後は4つのテーブルでそれぞれ話し合いをし、発表をしました。何より、まず自分たちができる備えをすること(自助)の大切さを学びました。

外国人には、英語・中国語・韓国語版となりますが、スマートフォンの「東京都防災アプリ」と、黄色い本の「東京防災」があります。日本人同士もふくめ、防災意識を高め、常に備えておくきっかけの一つになればと思っています。(広報部会:遠藤 芳信)

### 国際協会賛助会員として

ご協力いただいています。(敬称略・入会順)

- 多摩信用金庫 国分寺支店
- 公益財団法人 鉄道総合技術研究所
- 学校法人 東京経済大学
- 有限会社 井口葬儀店
- 一般社団法人 国分寺市医師会
- リオン株式会社
- 国際ソロブチミスト国分寺
- 東京国分寺ロータリークラブ
- 東京国分寺ライオンズクラブ
- 株式会社 日立製作所中央研究所

### 編集後記

協会報「地球家族」は創刊以来、年4回、国際協会の活動を皆様にお届けして参りました。

インターネットによる情報伝達が生活の一部になっている今日、広報誌のあり方について毎回部会で話し合い、ホームページリニューアルの実現化に向けて準備を進めてきました。

国際協会のイベントのお知らせ、ご報告などを早く、皆様にお届けすることが出来るようになります。

今後とも国際協会の活動をご支援ご協力お願いいたします。

(広報部会:廣田 昌子)